



# ホワイトペーパー

バージョン 4.0

A network diagram consisting of numerous nodes connected by thin lines. Most nodes are light pink, but several are a darker red. The nodes are scattered across the lower half of the page, with a higher density in the center and bottom right.

[www.stream-coin.com](http://www.stream-coin.com)

# 目次

<b>エグゼクティブサマリー</b> .....	<b>3</b>
<b>背景</b> .....	<b>4</b>
ストリーミング:レガシーシステムに阻まれた繁栄する市場 .....	4
デジタルアート:NFTとその先 .....	5
分散化へのシフト .....	6
<b>エコシステムの概要</b> .....	<b>6</b>
<b>STRMトークン</b> .....	<b>7</b>
構造、資金調達 of 歴史、そして上場 .....	7
トークン配布と権利確定期間 .....	8
バーン履歴 .....	9
概要 .....	9
上場前のバーン .....	9
マンスリーおよびデイリーバーン .....	9
<b>ストリームブリッジ</b> .....	<b>10</b>
<b>メイトーク</b> .....	<b>11</b>
ウェブおよびモバイルプラットフォーム .....	11
メイトークウォレット .....	12
プロデューサーラウンジ .....	12
<b>STRMNFT</b> .....	<b>12</b>
<b>ストリームチェーン1.0</b> .....	<b>13</b>
<b>GSTRM</b> .....	<b>14</b>
構造、リリース、そして上場 .....	14
トークンの配布、供給、およびバーン .....	14
<b>新しい分散型プラットフォーム</b> .....	<b>15</b>
ストリームチェーン2.0 .....	15
ストリームブロックチェーンウォレット .....	16
ストリームモバイルウォレット .....	16
ストリームDEX .....	17
<b>免責事項</b> .....	<b>17</b>

# エグゼクティブサマリー

このホワイトペーパーは、NFT、ストリーミング、及びブロックチェーンに関連する他の産業内の課題に対処するためのオールインワンソリューションとして、StreamCoinエコシステム及びその関連製品、サービス、機能を説明することを目的とします。

**背景**セクションは、ポストCovid-19のストリーミング市場の状況、NFTの増大する関連性、および2022年以降の暗号通貨業界における分散化への移行を含む、最近の市場の変動に関する簡単な説明、さらに、これらの状況の中でStreamCoinが果たすことができる重要な役割で構成されています。

**エコシステム概要**セクションでは、ホワイトペーパーはStreamCoinの各部分、つまりSTRMの主要なトークン、Stream Bridge、MeiTalkのマルチストリーミングサービス、STRMNFTマーケットプレイス、Stream Chain 1.0のメインネット、および二次トークンGSTRMについて詳しく説明します。このセクションでは、現在開発パイプライン内にある新しい分散型サービスと製品も取り上げます。

次のセクションでは、StreamCoinエコシステムの各部分について詳しく説明します。**STRMトークン**セクションでは、トークンの構造、供給、資金調達、権利確定期間、バーン履歴、その他の詳細をカバーします。次に、**Stream Bridge**について、その動作方法とサポートされているブロックチェーンについて説明します。**MeiTalk**セクションでは、プラットフォームの主な機能を説明し、その機能を説明します。

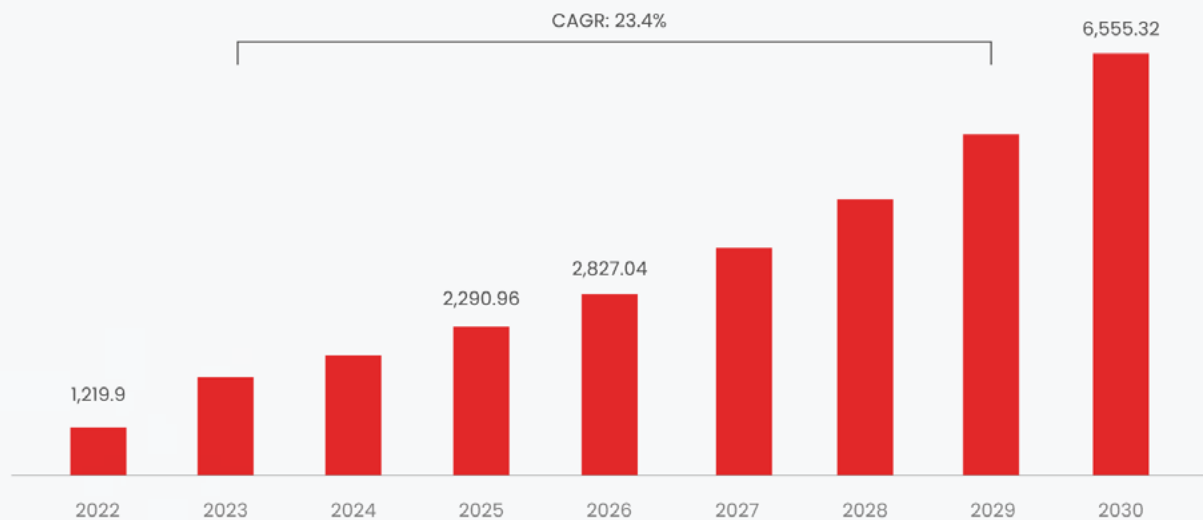
**STRMNFTとStream Chain 1.0**のセクションでは、NFTマーケットプレイス、そのプラットフォーム機能についてより詳しい情報を見つけることができます。また独自のNFT標準と合意形成メカニズムのようなStream Chain 1.0の機能がこれらにどのように取り入れるかについても説明しています。**GSTRM**セクションでは、トークンの目的と構造を要約し、その配分と将来のバーン計画についてさらに詳しく説明します。

最後のセクションはStream Chain 2.0のメインネット、Stream Blockchain Wallet、Stream Mobile Wallet、およびSTRM DEXをカバーする**新たな分散型プラットフォーム**について説明します。このホワイトペーパーの最後にある**免責事項**を慎重に読むことをお勧めします。これは、このホワイトペーパーの範囲内で必要な情報と開示事項を提供します。

# 背景

## ストリーミング:レガシーシステムに阻まれた繁栄する市場

Live Streaming Market Size, 2022 to 2030 (USD Million)



Source: VANTAGE Market Research

過去数年間でストリーミング市場は著しい成長を見せています。コロナ期間中の世界的なロックダウンはその需要を加速させ、2020年には何百万人もの新規ユーザーを生み出しました。

全世界のロックダウン政策が反転して以来市場は冷めていますが、まだ成長に向かっており、コロナ禍でその潜在能力を示しています。市場インテリジェンス社であるFuture Business Insightsは、市場を2022年に4550億ドルと評価し、2030年には1.9兆ドルに達すると予測しています。

しかし、この産業を悩まし続けている根本的な問題がまだその進行を妨げています。大手テクノロジー企業がオンラインストリーミングを独占しています。クリエイターはまだ不公平な報酬を得ています。法定通貨の支払いは制限されています。検閲は突然課せられます。そしてクリエイターはほとんどの著作権と知的財産の法的闘争で負け続けています。

ライブストリーミングをする時も、事情はあまり良くありません。クリエイターはまだGoogleのYouTubeやAmazonのTwitchなどの大手ライブストリーミングプラットフォームの言いなりになっています。クリエイターの広告収益は少ないです。コンテンツは常にいつでもなくなる可能性があります。そして、他のプラットフォームへの同時配信費用は通常、高価で複雑です。

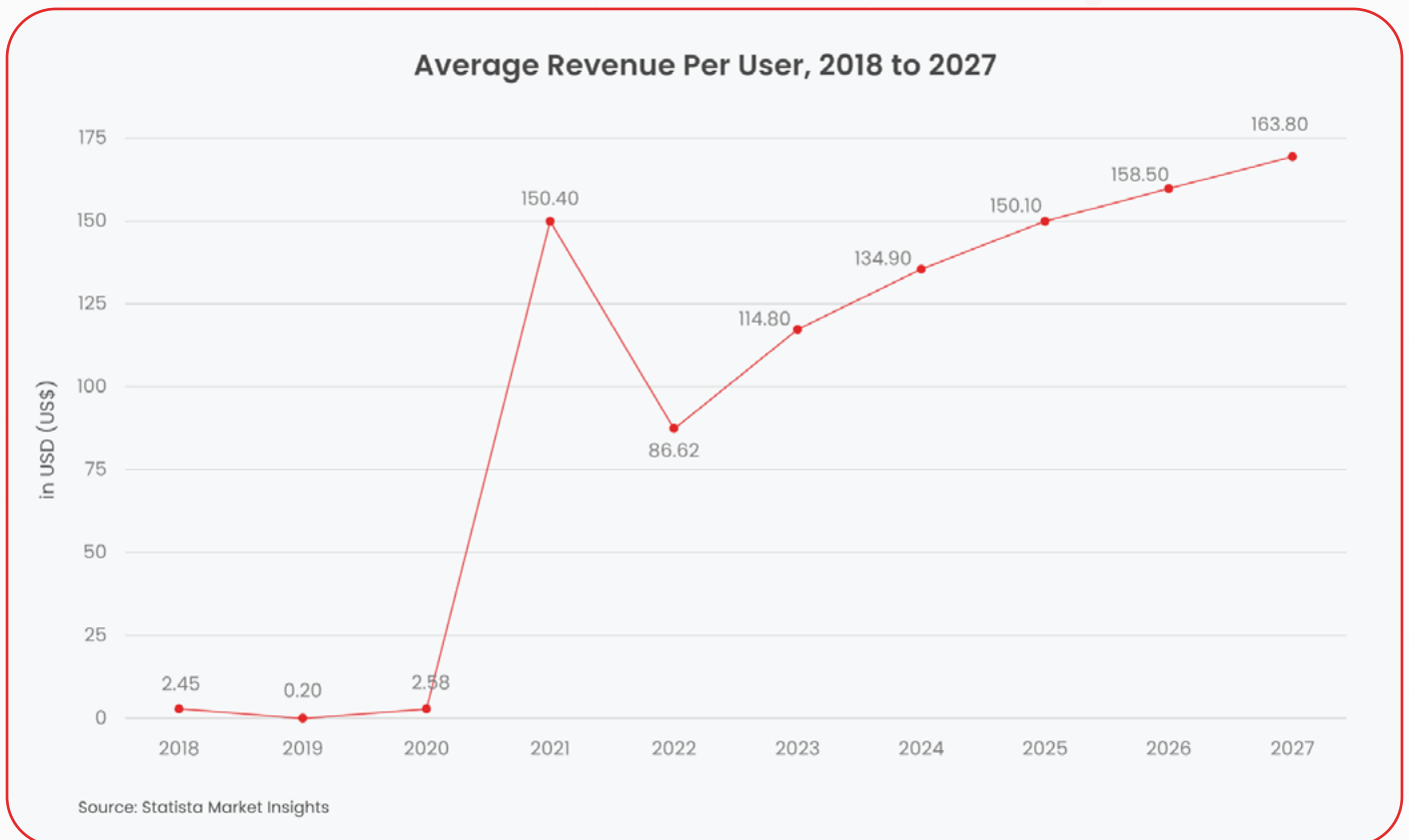
単一の解決策は存在しませんが、多くの解決策と取り組みを含むアプローチが常に存在します。StreamCoinは、この産業を生き生きとさせるクリエイターや一般視聴者がもっと自由になれるようにアプローチを追求しています。

ライブストリーミングプラットフォームであるMeiTalkを通じて、StreamCoinは全世界のすべてのクリエイ

イターに安全で包括的な空間を提供することを目指しています。MeiTalkが他と一線を画するのは、暗号通貨ウォレットなどのweb3機能の統合であり、ユーザーは自由にクリエイターに寄付を行い、クリエイターは広告収入から合理的な分け前を得る可能性があります。また、マルチストリーミングについては、MeiTalkは経済的に可能な限り無料で提供し続けることを約束しています。

MeiTalkが今後数年間でその拡張を続けるにつれ、無料のマルチストリーミングを数十のプラットフォームでサポートする計画とともに、web3ライブストリーミングの新しい基準を築くでしょう。

## デジタルアート：NFTとその先



わずか数年で、NFT市場は急速に膨らんでいます。取引量は2021年には何十億ドルにも達しました。2022年の成長は停滞していましたが、市場はまだ進化しています。NFTの最近のブームのおかげで、イーサリアムは主要なブロックチェーンとなりました。そして、それが多くの機能を提供している一方、高いネットワーク手数料は、新たに登場するクリエイターたちがNFTを始めるのを妨げています。

高い手数料だけが課題ではありません。ブロックチェーン、暗号通貨ウォレット、ミントの概念は、一般のユーザーやデジタルクリエイターにはまだ殆ど理解されていません。こうした課題の中で、StreamCoinは2022年に新しいブロックチェーンでSTRMNFTを立ち上げました。

デジタル資産のマーケットプレイスであるSTRMNFTは、NFTを収集、作成、取引する簡単な方法を提供します。低い手数料と使いやすいインターフェイスを提供することで、より多くのユーザーをNFT空間に引き込むことを目指しています。STRMNFTでは、ミントは無料、リストはほとんどの競合他社よりもかなり安く、登録に必要なのはメールアドレスだけです。

しかし、NFT市場の動向は非常に予測不可能であるため、StreamCoinはその選択肢を開いています。現在、同社はNFTマーケットプレイスにさらに多くのブロックチェーンを統合し、分散化を進める新

機能を追加する可能性を探っています。

## 分散化へのシフト

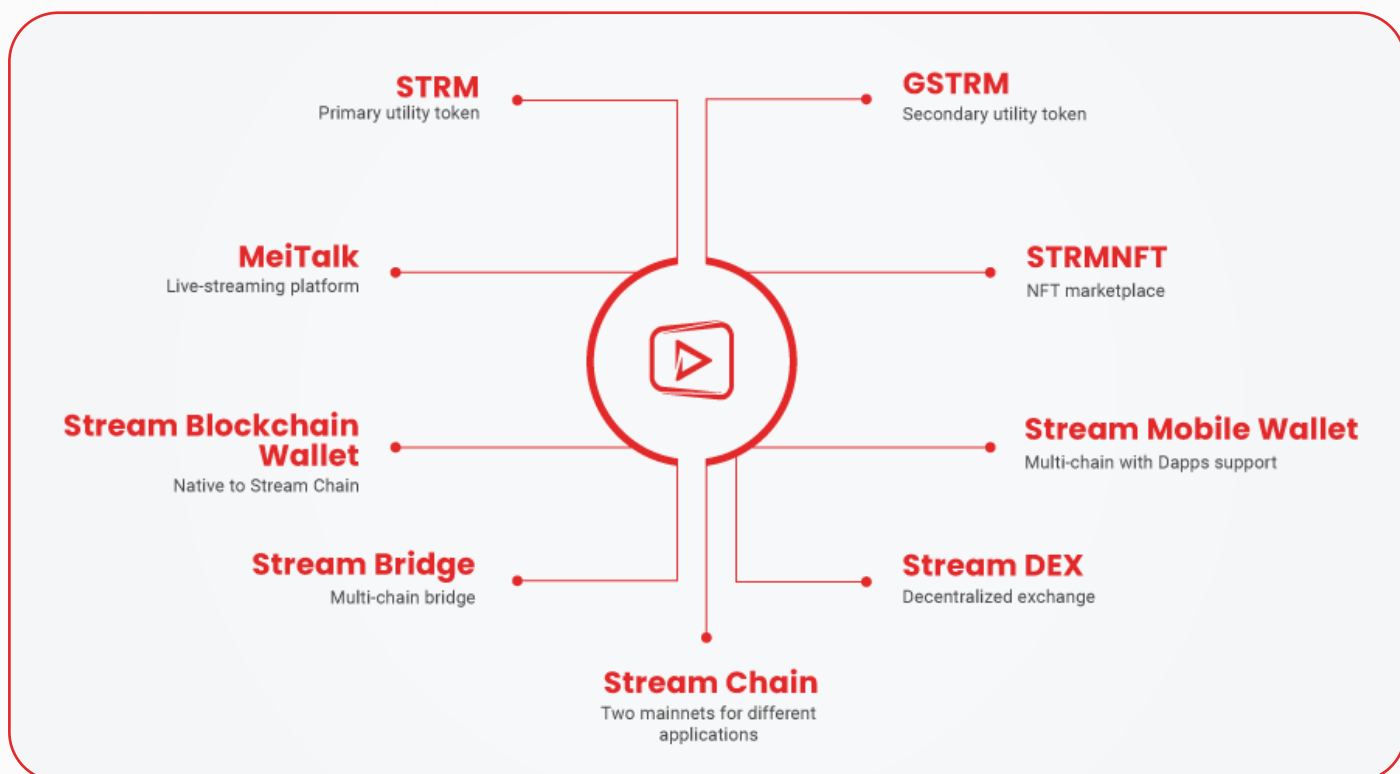
2022年に暗号通貨市場に影響を与えた数々の出来事に、ユーザーの視点が変わりました。FTXの崩壊は、ユーザーの中央集権的なエコシステムへの信頼を揺るがし、より分散型のエコシステムへの大量の資金移動を引き起こしました。

StreamCoinエコシステムは、簡素化と分散化の間で合理的なバランスを提供するように構築されています。しかし、最近の動向は、ユーザーにより大きな資産管理の自由度を与え、より分散化した代替サービスを提供することにより重点を置く必要があることを示唆しています。

そのため、StreamCoinは新たな分散型プラットフォームのための広範な研究と開発を開始し、安全性と簡潔さを損なうことなくエコシステムを多様化することを目指しています。これから登場するプラットフォームは、ネイティブブロックチェーンウォレットを持つ新たなメインネットから、新たなモバイルウォレット、分散型取引所まで様々です。

StreamCoinエコシステムは、今後2年間でより多くのユーザーに拡大します。それは、バランスの取れた分散化と簡素化を好むユーザーから、より大きなコントロールと高いレベルの分散化を求めるユーザーまで、すべてのユーザー向けにカスタマイズされた幅広いサービスを提供するでしょう。

## エコシステムの概要



StreamCoinエコシステムは、NFTとライブストリーミングのアプリケーションのために構築されています。それは、2つのトークン、NFTマーケットプレイス、ネイティブブロックチェーン、マルチストリーミングプラットフォーム、ブロックチェーンブリッジを含んでいます。これらのサービスは、ユーザーがトークンを



交換したり、NFTを作成したり、クリエイターに寄付を行なうなど、エコシステムと相互作用するために必要なすべてのものを提供します。

エコシステムの主な構成要素はプライマリトークンであるSTRMです。STRMは、BNBスマートチェーン(以前はバイナンススマートチェーンとして知られていた)上のBEP-20トークンです。2022年5月に、STRMは初期コインオファリング(ICO)の完了後、100以上の取引所に上場しました。

2番目のトークンはGaStream (GSTRM)で、エコシステムをサポートし、将来的にはガス代の削減、コミュニティ参加者へのインセンティブ、ノード検証への報酬、その他などを可能にするために作られました。

NFTマーケットプレイスはSTRMNFTで、ユーザーがNFTを収集、作成、取引するためのプラットフォームです。STRMNFTでは、1秒間に30万トランザクション(TPS)の速度で画像と全長のビデオNFTを作成、取引することができます。STRMNFTは独自のブロックチェーンを持ち、他のマーケットプレイスでは入手できないNFTを作成することでマーケットプレイスに価値を生み出しました。

Stream Chain 1.0はStreamCoinの最初のメインネットリリースです。これはDual Delegated Proof of Stake (DDPoS) コンセンサスに基づいて動作し、STRMNFTの30万TPSの速度を提供します。これは効率的で、速く、独自のスマートコントラクトをサポートします。さらに、Stream Chain 1.0には独自のNFT標準NSTA-602があります。

マルチストリーミングプラットフォームはMeiTalkで、ライブストリーミング、動画アップロード、暗号通貨決済、ライブ翻訳、その他などをサポートしています。MeiTalkは、ウェブブラウザを介してデスクトップから、iOSとAndroidを介してアプリケーションからのスマートフォンで利用できるクロスプラットフォームサービスです。プラットフォームには、入出金などの暗号通貨取引を容易にするための独自のウォレットもあります。

クロスチェーンスワップのためには、Stream Bridgeがあります。これにより、STRMの保有者はBNBスマートチェーン、イーサリアム、アバランチなどの複数のブロックチェーンでトークンを利用、保管、取引することができます。

2022年末に、StreamCoinは分散化により重点を置く新しい戦略を発表しました。この新戦略は、ユーザーにより多くのコントロールを与える新しいサービスとプラットフォームでStreamCoinエコシステムを多様化することを目指しています。新しいメインネット、ブロックチェーンウォレット、マルチチェーンとDappをサポートするモバイルウォレット、分散型取引所を開発する計画です。

StreamCoinチームは現在のプラットフォームの作業を続ける一方で、これから登場する分散型サービスの研究と開発を既に始めており、それらを2024年末から順次ローンチすることを目指しています。

# STRMトークン

## 構造、資金調達の歴史、そして上場

STRMはStreamCoinエコシステムのプライマリトークンです。これは、BNBスマートチェーンのトークン標準であるBEP-20に基づいて作られました。プライマリトークンとして、STRMはStreamCoinエコシステム内のほとんどのプラットフォームでデフォルトのオプションです。NFTをミントするにはSTRMが必要で、MeiTalkのほとんどの機能へアクセスするためのトークンでもあり、会社からの他のオファー(ステー

キング、トレード、ホルダーへのエアドロップなど)でもSTRMの使用が必要です。

BNBスマートチェーンに基づいているため、STRMはBEP-20標準内で利用可能な一般的な機能すべてをサポートします。これにより、オンチェーン手数料が低くなり、取引が高速化し、さらに多くの機能が利用できるようになります。

BNBスマートチェーンをサポートするすべてのウォレットでSTRMを保管できますが、StreamCoinチームはSTRMでテスト済みの次のウォレットを使用することを推奨しています。Trust Wallet、MetaMask、imToken、MyEtherWallet、そしてAladdin Pro Wallet。

Stream Bridge の開始後、Ethereum、Avalanche、Polygon という 3 つの新しいブロックチェーンが STRM トークンをサポートしました。STRM 保有者は、他のエコシステムでトークンを利用したり、より多くのウォレットにSTRMを保存したり、複数のブロックチェーンで取引したりできます。

STRMのBNBスマートチェーン上のコントラクトアドレスは2021年に作成されました。3回のプライベートセールラウンドが完了し、割り当てられたすべてのトークンは2021年11月から2022年1月の間に完売しました。

2022年2月から4月の間に、STRMの初期コインオファリング(ICO)が行われました。1300万個以上のSTRMが販売され、ICO参加者全体から1170万ドルを調達、プロジェクトのソフトキャップ達成、そして運営維持と新たなエコシステム開発が行なわれております。さらに、ICO期間中に投資企業が約2億4700万個のSTRMを確保しました。

2022年5月、ICO終了後の数日間で、STRMは100以上の中央集権型及び分散型取引所に上場されました。この大規模な上場により、STRMは広範囲で拡がり、世界中のユーザーがStreamCoinエコシステムにアクセスするチャンスを得ました。2023年には、115以上の取引所に拡大した後、STRMはより入手しやすくなり、一日平均取引量が1000万ドルを超えました。

## トークン配布と権利確定期間

STRMの供給量は限定的で、増加することはありません。新たなトークンの発行は行われません。しかし、トークンのバーンや権利確定期間の経過により、トークンの割り当ては常に変化します。

上場前の最新のトークン分配は、各カテゴリーにどれだけのSTRMが割り当てられたかを示しています\* (下のグラフを参照)：

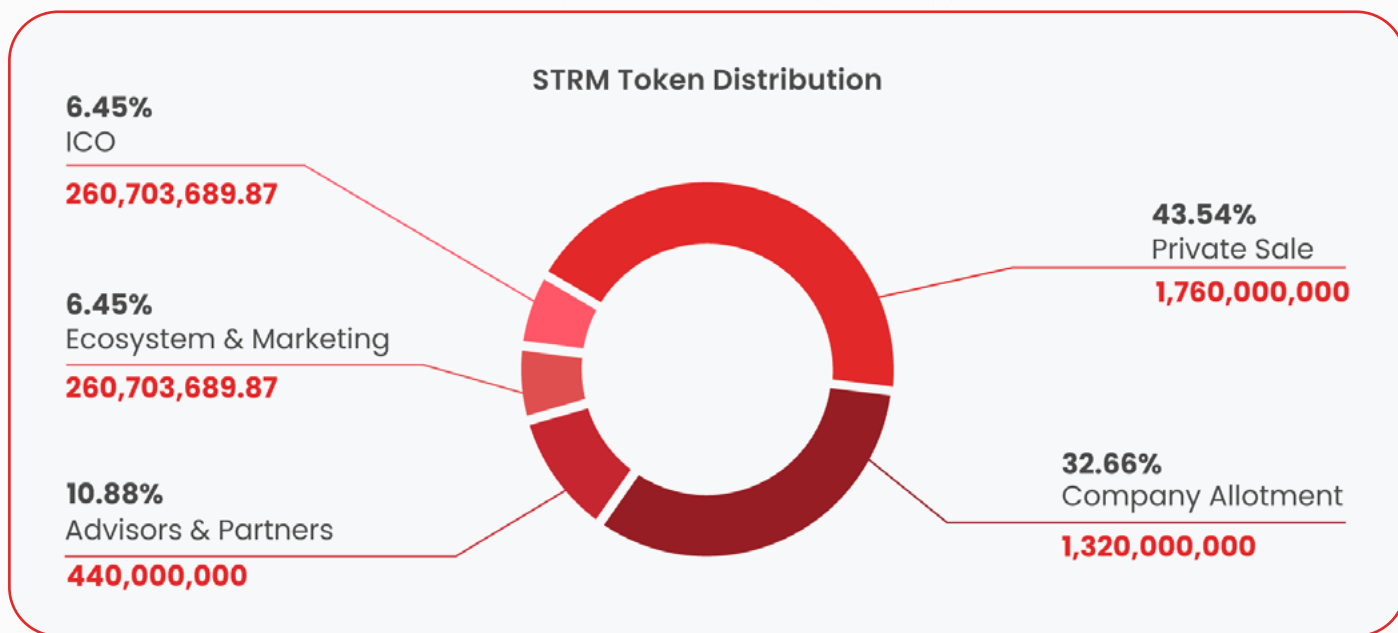
- **企業割り当て:** StreamCoinの運営、開発、従業員のため。
- **アドバイザー&パートナー:** 現在及び未来のパートナー、アドバイザー等のため。
- **エコシステム&マーケティング:** エコシステムの支援と、エアドロップやギブアウェイなどのキャンペーン開始のため、またその他
- **プライベートセール:** プライベートセールラウンドの終了とともに完売。
- **ICO:** ICOと企業投資参加者による完売。

いくつかのSTRM割り当てには以下のような権利確定期間が設けられます。



- **アドバイザー&パートナー**:2022年5月から始まる2年間の権利確定期間;権利確定期間終了後、毎月わずか2.5%が解除されます。
- **企業割り当て**:2022年5月から始まる3年間の権利確定期間;権利確定期間終了後、毎月わずか2.5%が解除されます。

\*新たなバーンが行われるたびに、STRMの現在の総供給量は減少します。グラフの現在の総供給量は、上場前の2022年5月時点で利用可能だったトークンの数を表しています。



## バーン履歴

### 概要

STRMは、必要に応じてより多くのトークンをバーンする計画で作られました。最初の計画は、プライベートセール、ICO、エコシステム&マーケティング割り当てから未使用のトークンをすべてバーンすることでした。2022年5月までに3回の上場前バーンが完了しました。2022年8月にStreamCoinは別の計画を立ち上げ、流通を減らすためマンスリーバーンを始めました。また、2023年2月にはデイリーバーンも導入されました。StreamCoinは新たなバーン計画を継続的に立ち上げることでSTRMの供給を減らすことを約束しており、エコシステムの長期的な健全さを支援しています。

### 上場前のバーン

上場前のバーンはICOとエコシステム&マーケティング割り当てのものが対象でした。2022年1月の最初のバーンから2022年5月の3回目のバーンまでの間に、総供給量は88億から約40億4千万まで変動し、50%以上減少しました。

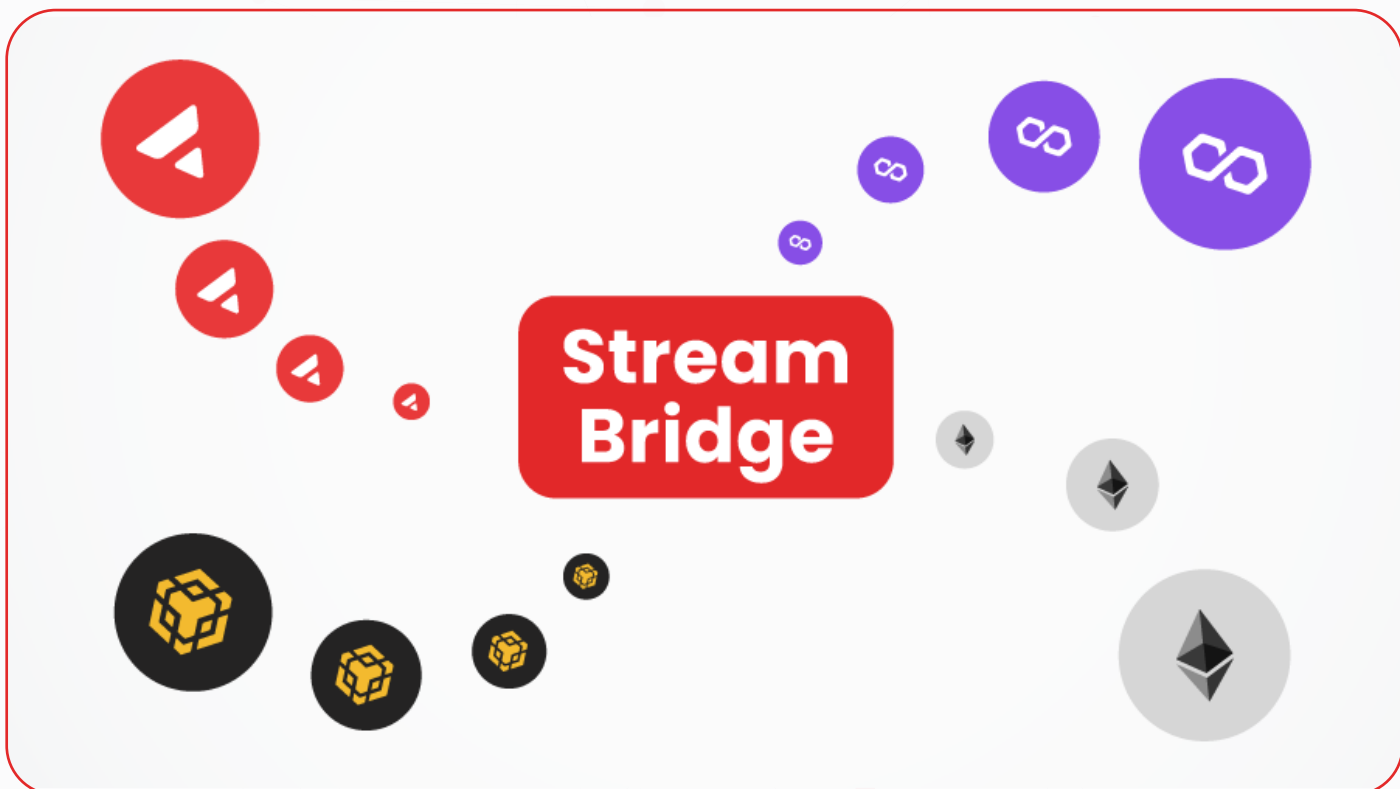
### マンスリーおよびデイリーバーン

2022年8月に、StreamCoinは流通を減らすための新しいバーン計画を開始しました。この計画により、STRMNFT、Stream Bridge、その他のソースから蓄積されたエコシステム手数料とSTRMトレードプログラムの収益がバーンされることになりました。

2023年7月までに、100回を超える新たなデイリーとマンスリーバーンが完了し、流通量は大幅に減少しました。

## ストリームブリッジ

Stream Bridgeは、ユーザーがSTRM BEP-20を他のブロックチェーンに変換できるスワッピングサービスです。保有者はこのサービスを使用して、Ethereum、Polygon、およびAvalancheでSTRMを取得できます。

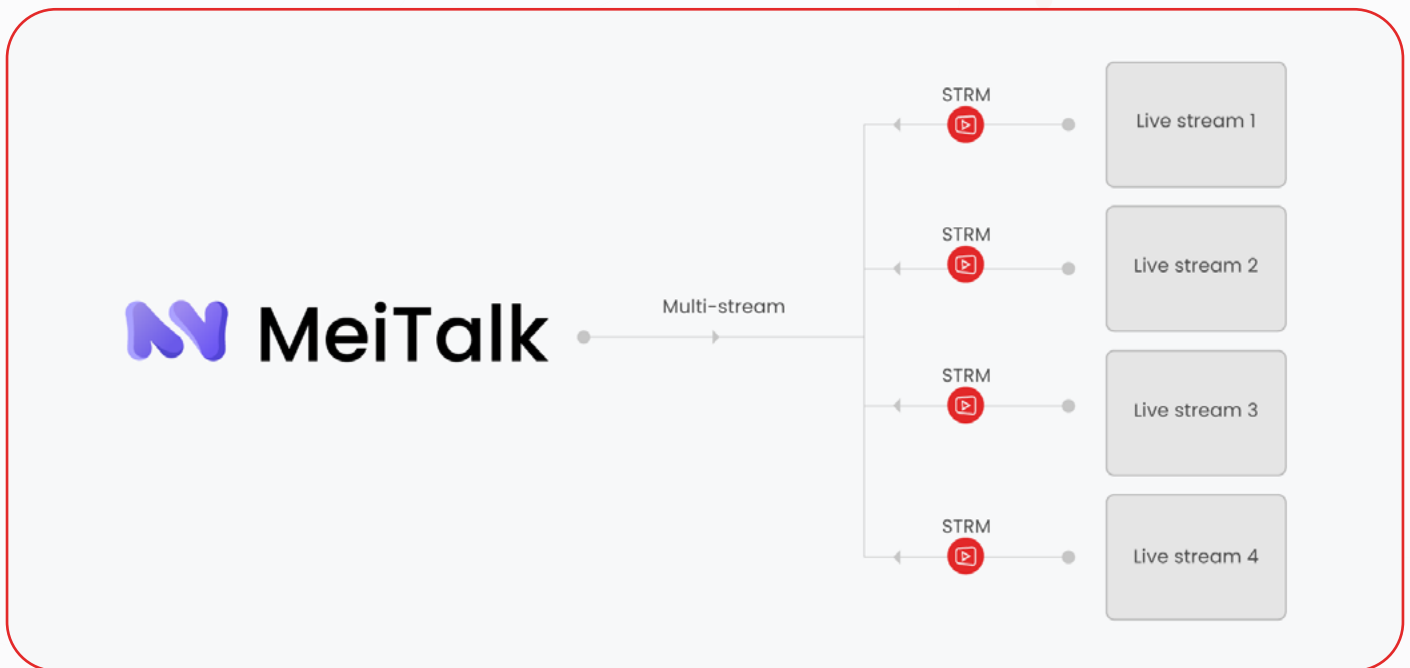


Stream Bridgeは使いやすく、デスクトップとモバイルで動作し、プロセスを全ての人々にとってシームレスにするための多くの機能があります。ユーザーは、サポートされているブロックチェーン間で無制限のスワップを行うことができ、最大のセキュリティを確保するためにスワップ可能な量に上限を設定することができます。また、スワップリクエストと履歴を監視し、MetaMaskウォレットを使用してスワップリクエストを開始することも可能です。

これらのブロックチェーンでSTRMがサポートされているため、ユーザーは多くの分散型取引所でトークンを取引し、より多くのウォレットに保存し、他のエコシステムで新たなユーティリティを探索することができます。

# メイトーク

## ウェブおよびモバイルプラットフォーム



MeiTalkは他のプラットフォームに同時配信をサポートするライブストリーミングサービスです。ウェブブラウザを通じてデスクトップデバイスで利用可能であり、iOSまたはAndroidを実行しているスマートフォンでも利用できます。MeiTalkの主な機能はライブストリーミングで、クリエイターが数回のクリックでストリームを開始できます。

マルチストリーミング機能では、クリエイターが他のプラットフォームに自分のストリームを配信することが可能です。開始時にはいくつかのプラットフォームが対象となる予定で、後日、数十のグローバルストリーミングプラットフォームが追加され、ストリーマーによる全世界への公開を提供します。また、MeiTalkはすべてのライブストリームでライブ翻訳を提供し、今後、より多くの言語が含まれる予定です。

StreamCoinは、より多くのストリーマーやクリエイターによるプラットフォームへの参加を促すため、マルチストリーミングサービスを無料で提供し続ける予定です。MeiTalkの最終バージョンがリリースされると、YouTubeやTwitchなどのストリーミングプラットフォームがサポートされます。開発が進むにつれて、さらに多くのプラットフォームが追加される予定です。

ライブストリーミングに加えて、MeiTalkはビデオ・オン・デマンド (VOD) をサポートしています。ウェブとモバイルプラットフォーム上のユーザーは、「カテゴリを選択、対象者の調整、サムネイルを追加、説明を含める」などのオプションで、制限のない動画をアップロードすることができます。

MeiTalkのインターフェースは2023年に更新され、全てのユーザータイプにより良いユーザー体験を提供します。それぞれのアップデートの後に多くの機能追加と細かな改善が行なわれます。MeiTalkにアクセスするために、プラットフォームはいくつかの便利な登録方法を提供しています。メール登録、Facebook、Apple、Googleアカウントによる登録。

プラットフォームの開発とユーザーのニーズに応じて、今後多くの機能がMeiTalkに追加される予定です。バナー広告やストリーム内広告を導入することが可能です。仮想通貨決済は寄付以外にも拡大されます。より高度なフィルターを開発して視聴者を選択できるようになります。また、電話会議を統合する機能も開発されます。

## メイトークウォレット

MeiTalk WalletはMeiTalkサービスの重要な一部です。これは、STRM、BTC、ETH、BNB (将来的には他のトークンも追加される予定) をサポートするウェブとモバイルプラットフォームで利用可能なウェブベースのマルチ通貨ウォレットです。

このウォレットは設定が簡単で、全てのユーザーが利用でき、完全にMeiTalkと統合されています。ユーザーはMeiTalk Walletを使って仮想通貨を寄付したり、寄付を受け取ったり、広告から報酬を得る (広告が統合された場合) など、色んな機能を利用できます。

全てのユーザーに統一された体験を提供するため、MeiTalk WalletはAladdin Pro Walletと統合されています。Aladdin Pro WalletはSTRM保有者の間で一般的に使用されているウォレットです。ユーザーはAladdin Pro WalletのアドレスをMeiTalk Walletのデフォルトの出金アドレスとして追加でき、ユーザーがトークンを管理するためのより簡単な方法を提供します。

悪意のある活動を防ぐために、MeiTalk WalletはユーザーにMeiTalk上でプロフィールを完成させることを要求します。携帯電話番号、性別、年齢、国籍を追加してウォレットの設定を完させなければなりません。

## プロデューサーラウンジ

Producer LoungeはMeiTalkのユニークな機能の一つです。クリエイターが新しいライブストリーミングのアイデアを提案し、それらのアイデアを実行するための寄付を視聴者から受け取ることを可能にします。

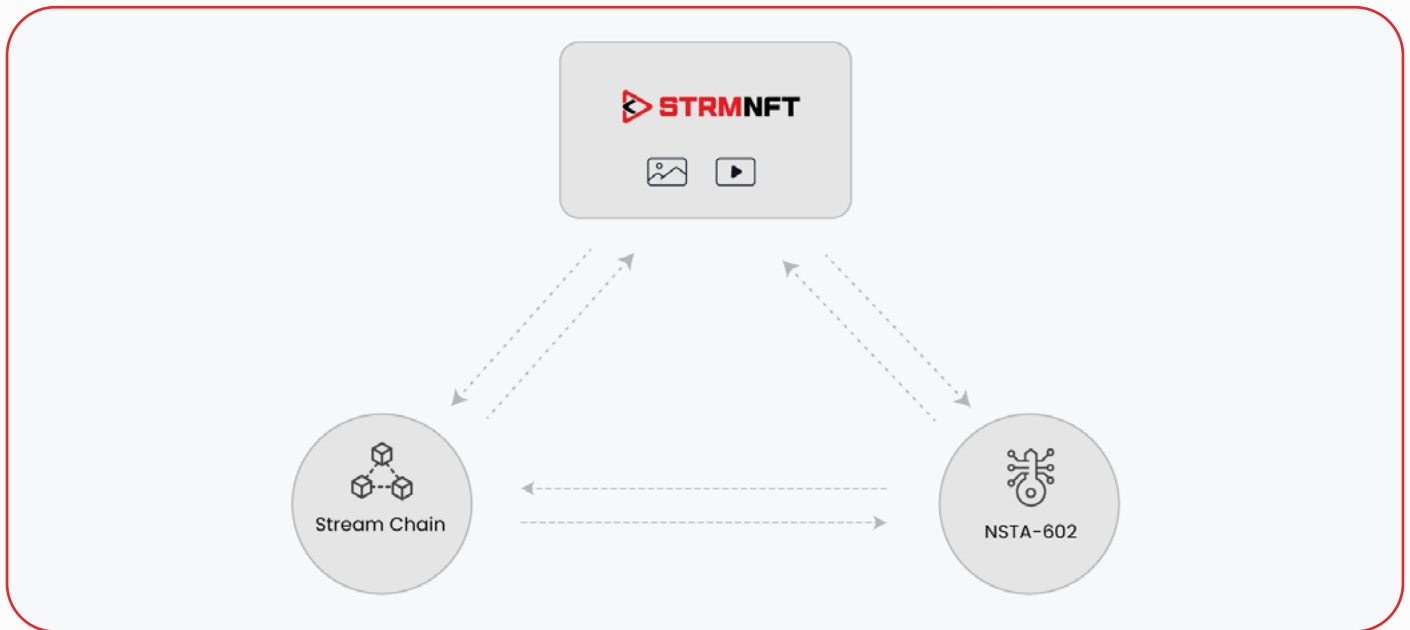
Producer Loungeのインターフェースでは、クリエイターは新しい提案を追加し、動画サンプルをアップロードし、画像を含めてカテゴリを選択、タイトルを設定し、提案するライブストリーミングの場所と言語を選択することができます。

## STRMNFT

STRMNFTは、独自のブロックチェーンを持つNFTマーケットプレイスです。ユーザーは、低料金、高速性、多機能性でNFTを発行、収集、取引することができます。このマーケットプレイスでは、NFTのリスティングにSTRMを使用し、STRMはBNBとETHに比べてSTRMNFTで最も使用されるトークンです。

Stream Chain 1.0を動力源とするSTRMNFTは、NFTを発行するための独自のトークンスタンダード、NSTA-602を使用しています。このマーケットプレイスは、最大100MBの画像と標準的長さの動画発行をサポートしています。クリエイターは一度に最大100個のマルチエディションNFTを作成することができます。また、最大100個のNFTを開発ツールなしで一括発行できるオプションもあります。

STRMNFT上のNFT取引は高速で、ブロックチェーンは300,000TPSまで達成できます。NFT取引はStream Chain 1.0上で処理される一方、決済取引はMetaMaskを通じて行われます。ユーザーは、NFT



の購入、発行、売上げやロイヤリティの受け取りのために、MetaMaskウォレットを接続する必要があります。

NFTをバーンするオプションもあります。ユーザーは、ガス料を支払うことなく、数クリックでNFTをバーンできます。NFTの転送には2つのオプションがあります。1つ目は単一転送で、STRMNFTで登録した受信者のメールアドレスを使用して数クリックで完了できます。2つ目は「エアドロップ」で、クリエイターが一度に最大100個のNFTを送信できます。現在、この機能にガス代は必要ありません。

立ち上げ以来、STRMNFTは日常的なインターネットユーザーからNFTの専門家まで、誰でも使いやすいプラットフォームであることに焦点を当ててきました。ユーザーは、メールアドレスを使った簡単な登録プロセスを通じてSTRMNFTにアクセスすることができます。そして、最大のセキュリティを提供するために、STRMNFTはGoogle Authenticatorを使った二段階認証(2FA)のオプションを提供しています。

このマーケットプレイスでのコレクションの作成は簡単で、スマートコントラクトの実装を必要としません。ユーザーは、開発ツールを必要とせずにコレクションを作成し、特性を手動で追加することができます。

STRMNFTの開発が続くにつれて、他の機能も追加される予定です。StreamCoinチームは、マーケットプレイスに更なるブロックチェーンを追加し、NSTA-602 NFT用の専用ウォレットを設計するなどの計画を立てています。しかし、開発の進行方向は市場の状況、コミュニティのフィードバック、その他の要因に基づいて変更される可能性があります。

## ストリームチェーン1.0

Stream Chain 1.0は、StreamCoinの最初のメインネットリリースです。これは、デュアルデリゲートプルーフオブステーク(DDPoS)というコンセンサスメカニズムに基づいて運用される独立したブロックチェーンです。Stream Chain 1.0は最小限の計算力で効率的に動作し、大量のトランザクション、より速いNFTの発行、そして広範なトランザクション記録の維持を可能にします。

DDPoSコンセンサスは21のマスターノードに基づいています。これらのマスターノードのうち、17がブロックプロデューサーとして動作し、残りの4つがランダムに選ばれるバリデーターノードです。各ラウンド



で、バリデーターノードはネットワークの安定性とセキュリティを確保するために変更されます。各ラウンドは63秒で、3秒ごとに1つのブロックが作成されます。

その独特の構造により、DDPoSはStream Chain 1.0がTPS 300,000を達成することを可能にします。この速度は、韓国の検定機関であるKOLAS (Korea Laboratory Accreditation Scheme) によって認証されています。

Stream Chain 1.0は、そのブロックエクスプローラー、STRMNFT Explorerで全てのトランザクションの記録を保持しています。このエクスプローラーは、時間や日付ごとに転送されるNFTの数、ブロックの高さ、合計トランザクション、トランザクションの種類、発行されたNFTの合計数、その他の情報を追跡し表示します。

# GSTRM

## 構造、リリース、そして上場

GaStream (GSTRM) は、StreamCoinエコシステムのセカンダリーユーティリティトークンです。これはBNBスマートチェーン上のBEP-20で構築されています。StreamCoinは2022年3月のICO期間中にGSTRMをローンチし、ブランド認知を広めるとともに、初期参加者に特別な利益を提供しました。リリースから数日後、GSTRMはPancakeSwapという分散型取引所に上場されました。

StreamCoinエコシステムがさらに発展するにつれて、GSTRMは多くのユーティリティを持つことになるでしょう。このトークンの主な目的は、エコシステムとその開発をサポートし、オンチェーンのトランザクション費用と手数料を削減し、新しい報酬オプションを提供することを目指しています。

これらのユーティリティは、エコシステムの次のメインネットリリースであるStream Chain 2.0の開発に続いて実装される予定です。開発の進行方向とメインネットの設計によっては、ユーザーがノード作成に参加した報酬としてGSTRMを取得できたり、Stream Chain 2.0のガス料金を支払ったり、その他の関連機能の利用のための決済ができるかもしれません。

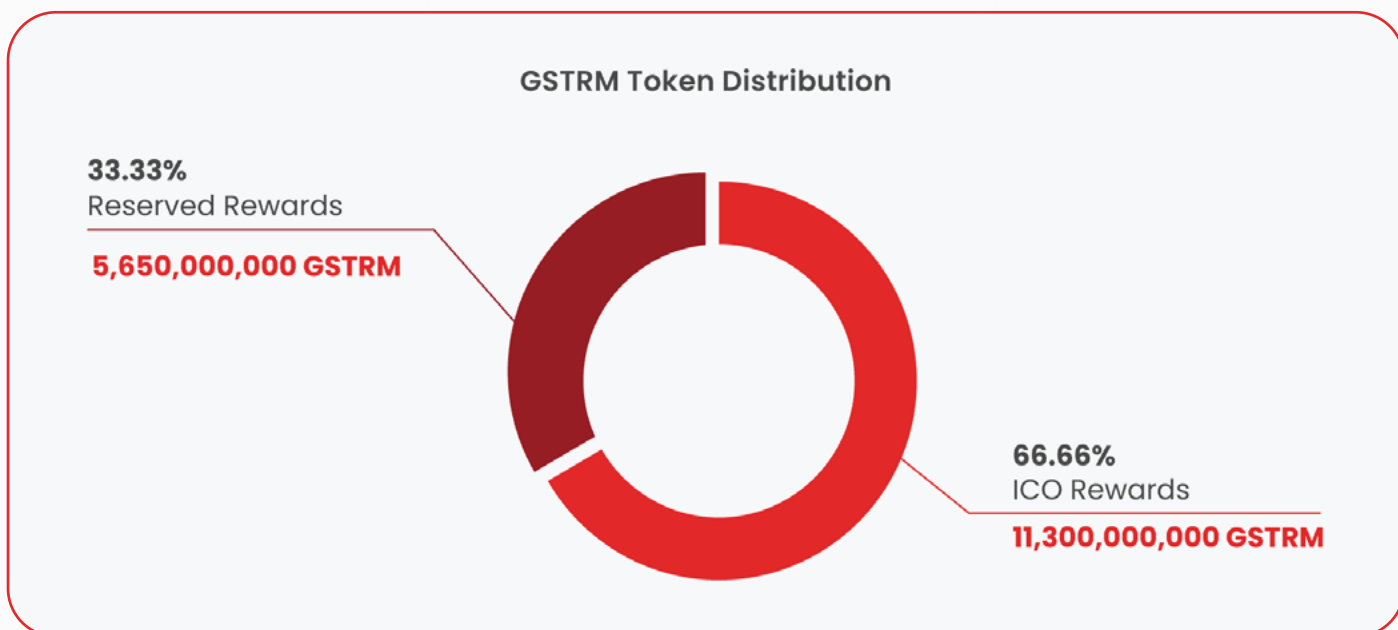
また、StreamCoinチームは、GSTRMを保管、送信、または受け取るために、Trust Wallet、MetaMask、imToken、MyEtherWallet、そしてAladdin Pro Walletを使用することを推奨しています。

## トークンの配布、供給、およびバーン

GSTRMは初期供給量16,950,000,000でローンチされました。2022年3月時点での配分は以下の通りです。

- **ICO報酬**: 66.66% (11,300,000,000 GSTRM)
- **予約報酬\***: 33.33% (5,650,000,000 GSTRM)

\*予約報酬は、イールドファーマーミング、MeiTalkでの広告視聴、Stream Chain 2.0でのノード形成、その他の活動に割り当てられる場合があります。



2022年6月に1,798,124,072.76 GSTRMの一回のバーンが行われ、供給量は15,151,875,927.23 GSTRMとなりました。未要請の報酬分、その供給量を減らすために更にバーンが行われる予定です。さらに、StreamCoinエコシステムがGSTRMのガス代を蓄積し始めると、さらに多くのバーンが行われる予定です。

GSTRMの供給は、StreamCoinエコシステムの進化するにつれ、そのニーズに基づいて増加する予定です。変更の可能性がある初期の計画では、年間8%の増加を行い、以下のように分配することになっています。

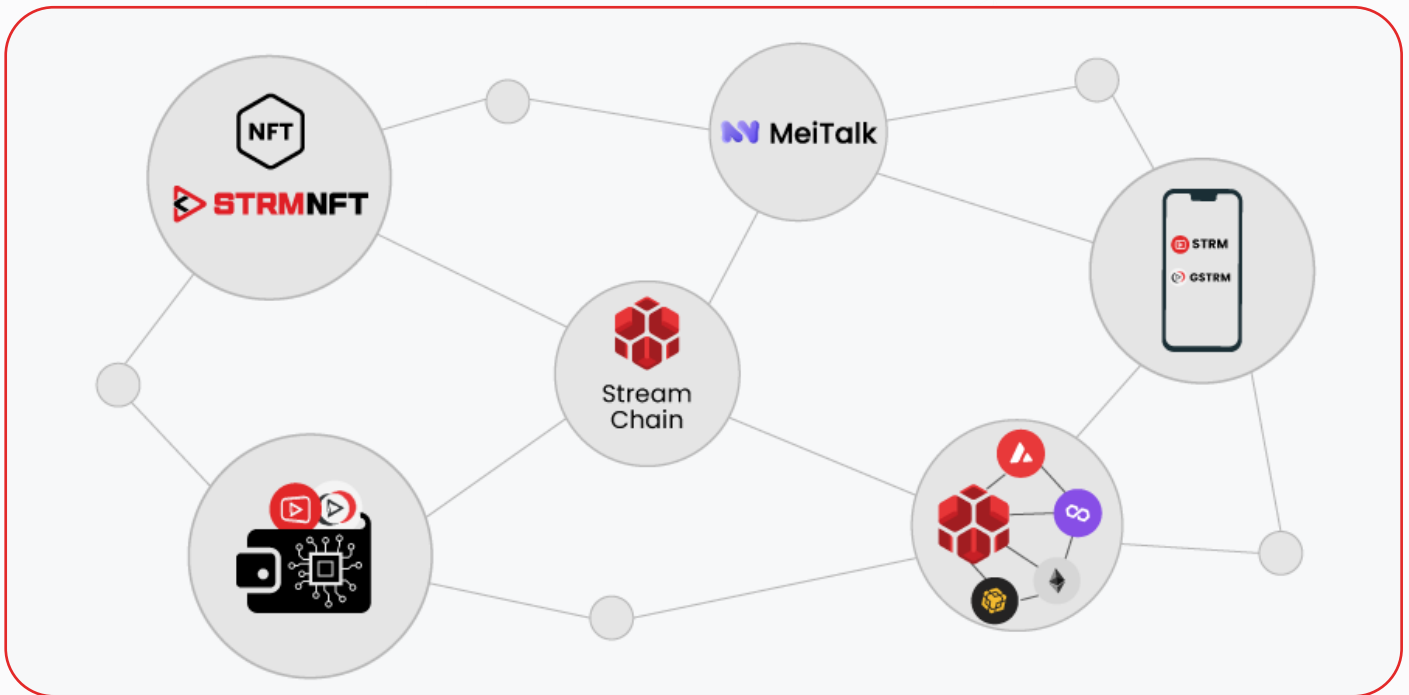
- 1%をMeiTalkのトップ10のストリーマーに
- 1%をMeiTalkのトップ100のストリーマーに
- 1%をプライマリノードに
- 1%を補助ノードに
- 4%を他のノード報酬、MeiTalk広告報酬、および運営維持のために

## 新しい分散型プラットフォーム

### ストリームチェーン2.0

Stream Chain 2.0は、StreamCoinの第二のメインネットリリースになります。これは、セキュリティ、分散化、新機能の追加により焦点を当てた独自のブロックチェーンになります。異なる構造を持つため、Stream Chain 2.0はStream Chain 1.0から独立して動作します。Stream Chain 1.0は引き続きNFTに焦点を当てる一方で、Stream Chain 2.0はスマートコントラクト、ネイティブウォレット、Stream Bridgeの統合、高い拡張性など、StreamCoinエコシステムの新たな可能性を開きます。

StreamCoinチームは、Stream Chain 2.0にEthereum Virtual Machine (EVM) との互換性があるように開発しています。EVM互換性により、スマートコントラクト、Dapps、その他のEthereumアプリケーションの実装が可能になり、Stream Chain 2.0上に構築されたスマートコントラクトが他のEVM互換のブロックチェーンに実装されることも可能にします。



Stream Chain 2.0は、Ethereum Request for Comments (ERC) プロトコルを含め、Ethereumで利用可能な各種ツールをサポートします。EVM互換性、幅広いユーザーベース、広く使用されるエコシステムは、Stream Chain 2.0のローンチ後の普及を加速させます。

Stream Chain 2.0の開発が終わると、保有者は自分のSTRM BEP-20トークンをスワップして新しいメインネットで使用することができます。Stream BridgeがStream Chain 2.0との統合を可能にすると、スワップ機能がリリースされます。

全ての機能とリリース日はまだ確定していません。Stream Chain 2.0の開発はすでに始まっており、2025年にローンチされる予定です。

## ストリームブロックチェーンウォレット

Stream Blockchain WalletはStream Chain 2.0のネイティブウォレットになります。このウォレットを使用して、ユーザーはStream Chain 2.0上でSTRMを保管、送信、受信することができます。第二のメインネットが準備完了すると、Blockchain Walletがリリースされます。開発はすでに始まっており、ウォレットは2025年に完成予定です。

## ストリームモバイルウォレット

Stream Mobile Walletは、スマートフォンで利用できるマルチチェーンウォレットになります。これはBlockchain Walletとは別のものです。多くの機能が含まれ、分散化に焦点を当て、ユーザーが自分の資産をよりコントロールできることを目指しています。StreamCoinは、より分散化した機能を追加するとともに、ユーザーエクスペリエンスを簡略化して、ウォレットに誰でもアクセス出来るようにするというバランスを考慮してこのウォレットを設計します。

StreamCoinの互換性のあるサービスとの完全な統合も期待されます。ユーザーは、エコシステム内の多くの機能に容易に、かつ安全にアクセスすることができるでしょう。モバイルウォレットは、アプリ内蔵ブラウザを通じてDappsをサポートし、分散型取引所、スワッピング、DeFiプロトコル、ステーキングなどのより多くの機能を利用可能にします。

また、StreamCoinチームは、旅行者が各航空会社のロイヤルティプログラムから得た「航空マイレージ」をトークン化する可能性を探求しています。この機能が計画通りに実装された場合、ユーザーは航空マイレージを暗号通貨に変換し、簡単に取引することができるようになります。モバイルウォレットは2025年に利用可能になる予定です。

## ストリームDEX

Stream DEXは、マルチチェーンをサポートする分散型取引所になる予定です。これはStream Chain 2.0、Stream Mobile Wallet、およびStreamCoinエコシステムの他の互換性のある部分によってサポートされます。この取引所を立ち上げる目的は、ユーザーが仲介者なしにピアツーピアで安全な即トレードを行うことを可能にするためです。Stream DEXの機能はまだ公表されていません。予定されているローンチ日は2025年です。

## 免責事項

この免責事項は、このホワイトペーパーの内容とそれが対象とする主題に関する必要な情報と開示を提供することを目的としています。このホワイトペーパーを読み終えたら、最後にこの免責事項を慎重に読み、理解することが重要です。

このホワイトペーパーは情報提供のみを目的としており、金融、投資、または法律のアドバイスと解釈されるべきではありません。このホワイトペーパーの情報は、暗号通貨や他の種類のデジタルトークンを購入または販売するためのオファーまたは勧誘を構成するものではありません。このホワイトペーパーに関連するいかなる決定をする前に、専門家からのアドバイスを求めるべきです。

暗号通貨や他のデジタルトークンへの投資にはリスクが伴います。暗号通貨の価値は大きく変動する可能性があり、大幅な金融損失のリスクがあります。このホワイトペーパーは、ここで議論されているトークンの未来の価格や価値を保証または暗示するものではありません。このホワイトペーパーに関連するいかなる決定をする前に、あなた自身の金融状況とリスク許容範囲を考慮するべきです。

暗号通貨、非代替可能トークン、および他の種類のデジタルトークンに対する規制環境は進化し続けており、常に変化します。このホワイトペーパーに提供される情報は、最新の法的または規制上の要件を反映していないかもしれません。あなたの管轄区域で適用される法律と規制に準拠することはあなた自身の責任です。

このホワイトペーパーは、第三者のウェブサイト、プラットフォーム、およびその他のリソースへのリンクまたは参照を含む場合があります。そのようなリンクとリソースは便宜上提供されており、このホワイトペーパーは第三者の情報源の内容、正確性、または合法性を支持するものでも、それに対する責任を負うものでもありません。

このホワイトペーパーには、現在の期待、信念、および仮定に基づいて前向きな声明や予測が含まれる場合があります。これらの声明には予測が困難なリスクが伴い、実際の結果が表現されたものまたは暗示されたものとは異なる場合があります。StreamCoinは、前向きな声明を更新または改訂する義務を負いません。

このホワイトペーパーに含まれる情報は、「現状のまま」の基準で提供され、明示または黙示の保証はありません。情報の正確性、完全性、信頼性、または特定の目的への適合性についての保証はありません。

このホワイトペーパーに関連する知的財産権、著作権、商標、特許を含むが、これに限定されない権利は、各権利所有者が所有しています。適切な許可を得ずに内容を使用、複製、または配布することはできません。

この免責事項は、このホワイトペーパーの全内容、関連資料、将来の更新に適用されます。